

区分	一般	特定
	特種利用 臺柁	

基本的に赤字部分を記載してください。

自社の区分に○をしてください

貨物自動車運送事業実績報告書

あて 住 業 者 所
 事 代 表 者 名
 電 話 番 号

神奈川県横浜市・・・
 ・・・・運輸株式会社
 代表取締役・・・
 045-・・・

事業概況（24年3月31日現在）

事業用自動車	30（内被けん引20）両	従業員数	35人	運転者数	31人
--------	--------------	------	-----	------	-----

事業内容（前年4月1日から3月31日まで）

・ダンプによる土砂等輸送	・冷凍、冷蔵輸送
・基準緩和認定車両による長大物品等輸送	・原木、製材輸送
○国際海上コンテナ輸送	・引越輸送
・コンクリートミキサー車による生コンクリート輸送	・その他（食品、油、自動車部品）
・危険物等輸送	

取扱貨物に○、もしくはその他に記載してください

輸送実績（前年4月1日から3月31日まで）

	延実在車両数 （日車）	延実働車両数 （日車）	走行キロ （キロメートル）	実車キロ （キロメートル）	輸送トン数		営業収入 （千円）
					実運送 （トン）	利用運送 （トン）	
北海道							
東北							
北陸信越							
関東	10,950	8,215	1,643,213	985,855	494,700	85,902	42,530
中部							
近畿							
中国							
四国							
九州							
沖縄							
全国計	10,950	8,215	1,643,213	985,855	494,700	85,902	42,530

動く動かない関係なく緑ナンバー車が存在した延べ日を記載。

実際に仕事をした緑ナンバー車の延べ日を記載。

実際に仕事をした緑ナンバー車の走行距離（空車含む）

実際に仕事をした緑ナンバー車の走行距離（空車除く）

外注さんに運んでもらった1年の合計トン数を記載

運賃・料金の年間総収入

運輸局にまたがって営業所がある場合はすべて合計して記載。ひとつの運輸局で収まる場合はそのまま記載。

交通事故件数	0	重大事故件数	0	死者数	0	負傷者数	0
--------	---	--------	---	-----	---	------	---

小さな交通事故でもカウントして記載。

事故報告した事故の件数を記載。

- 備考1 区分の記載は、本報告書の記載事項をのぞき、当該事業に特有の事項がある場合、当該事業の性質を考慮し、運輸局の届出事項に基づき記載すること。
- 2 従業員数は、当該事業に従事している人数及び共通部門に属する人数を、当該事業の性質に基づき合理的に配分した人数とし、運転者数は、当該事業に従事している人数とする。
- 3 事業用自動車とは、国土交通省令（昭和33年運輸省令第104号）第1条第1項で定める自動車（軽自動車を含む）をいう。
- 4 危険物等輸送とは、国土交通省令（昭和33年運輸省令第104号）第1条第2項で定める危険物等輸送をいう。
- 5 輸送実績については、地方運輸局の管轄区域ごとに、当該地方運輸局の管轄区域内にあるすべての営業所に配置されている事業用自動車の輸送実績（ただし、輸送トン数（利用運送）については、当該地方運輸局の管轄区域内にあるすべての営業所において行った貨物自動車利用運送に係る貨物取扱量）について記載すること。
- 6 交通事故とは、道路交通法（昭和23年法律第105号）第72条第1項の交通事故をいう。
- 7 重大事故とは、自動車事故報告規則第2条の事故をいう。